




株主 通信

平成25年3月期報告書
平成24年4月1日～
平成25年3月31日

 理想科学工業株式会社

証券コード:6413



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成25年3月期は、印刷機器事業において国内及びアジアで販売が堅調に推移し、平成20年3月期以来5期ぶりの増収となりました。利益面では、インクジェット事業を当社が単独で行う体制にしたことによる原価低減の効果により、売上総利益が増加し増益となりました。

製造部門においては、当期に海外の生産体制を変更いたしました。タイ・アユタヤと中国・深圳の工場で生産を開始し、現在はリソグラフのほぼ全機種を海外で生産しております。

インクジェットでは、オルフィスの新シリーズを国内で1月に発売しました。3世代目となる「ORPHIS EXシリーズ」は、オルフィスの特長である高速性・経済性を生かしつつ拡張性を強化し、お客様のこれまでの用途をさらに広げるラインアップを取りそろえました。他社にはない独自のソリューションで新しい市場を開拓してまいります。

今後は、平成28年(2016年)3月期を最終年度とする新たな中期経営計画「RISO Vision 16」に取り組み、さらなる業績の向上に努めます。

なお、当期の配当金につきましては前期より15円増配し、1株当たり55円とさせていただきます。株主の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月
代表取締役社長
羽山 明

第五次中期経営計画 RISO Vision 16

(平成25年4月1日～平成28年3月31日)

経営目標

個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

数値目標

連結売上高:860億円 連結営業利益:70億円 ROE:7% (※前提とする為替レート:1米ドル90円、1ユーロ116円)

重点項目

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| (1) 海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る | (4) 将来をにらみ新たな生産体制をつくる |
| (2) インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす | (5) 新規事業創出に挑戦する |
| (3) 孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する | (6) 事業参画意識を高め、常にチャレンジする社風をつくる |

平成26年3月期経営方針

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| (1) 新規市場・新規顧客の獲得をグループ全体で推進する | (3) 理想開発センターを効率的に活用し、開発を加速する |
| (2) 海外の販売管理・販売企画機能を強化し、海外事業の拡大を図る | (4) 生産拠点最適化に向けた基盤づくりを実施する |



全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

第四次中期経営計画「Riso Vision 13」が平成25年3月で終了し、新たに第五次中期経営計画「RISO Vision 16」がスタートしました。それらの概要や今後の展開などについて、社長の羽山明よりご説明いたします。

営業利益は3期とも目標を達成

本年3月に終了した「Riso Vision 13」では、経営方針を「新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を構築する」とし、数値目標に連結売上高830億円、連結営業利益25億円を掲げていました。

売上高については、国内は順調に推移したものの、販路構築や育成により売上増を目指していた海外がインクジェット事業を計画どおり伸ばすことができず、大幅な円高の影響もあり、全体では目標に到達できませんでした。

利益面では、インクジェット事業を当社単独で行う体制にしたほか、北米子会社の事業構造改革を行うなど、費用面での見直しを進めたことなどにより、営業利益は3期とも目標の25億円を達成することができました。

海外事業の拡大を最重要課題に

今期よりスタートした「RISO Vision 16」は、「個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、全世界で

販路拡充と新規顧客の獲得を実行する」を経営目標とし、数値目標として、連結売上高860億円、連結営業利益70億円、ROE 7%を設定しています。

これを実現するための重点項目として、P2に記載のとおり「海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る」「インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす」「孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する」など6項目を掲げて運営してまいります。

最重要課題である海外事業の拡大のためには、インクジェット事業を海外でも伸ばしていくことが欠かせないと考えています。大きなポテンシャルを持つインクジェット事業は、先進国だけでなく新興国でも成長が期待できます。

本年1月に発売したオルフィスの新シリーズは、この5月より海外でも順次販売を開始しました。全世界で販売体制や販促活動を強化し、グローバル市場の開拓と新規顧客の獲得を目指します。

新規顧客の獲得をグループ全体で推進する

- 「RISO Vision 16」の初年度である平成26年3月期では、
- (1)新規市場・新規顧客の獲得をグループ全体で推進する
 - (2)海外の販売管理・販売企画機能を強化し、海外事業の拡大を図る
 - (3)理想開発センターを効率的に活用し、開発を加速する
 - (4)生産拠点最適化に向けた基盤づくりを実施する
- を経営方針に掲げています。

昨年5月に着工した新開発拠点「理想開発センター」は、本年5月31日に完成しました。同センターは、茨城県つくば市に県内4カ所に分散していた開発拠点を統合し、建設したものです。ここを新開発拠点として、独自性のある製品の開発に取り組んでまいります。

営業成績を反映させた配当を行うことを原則として

当社の利益配分は、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うことと、安定配当の継続に努めることを基本方針としています。また、自己株式の取得も利益還元のひとつと考え、株価水準や市場動向を勘案しながら実施しています。

「RISO Vision 16」の期間中における利益配分については、基本方針を踏まえたくえで営業成績を反映させた配当を行うことを原則とし、営業成績が好調な時には利益配分を増やしていくことといたします。

平成26年3月期の期末配当金は、1株につき5円増配

し、1株当たり60円とする予定です。また、平成25年5月16日から7月16日までの2カ月にわたり100万株20億円を上限とした、自己株式の買入れを実施しています。



代表取締役社長 羽山 明



事業概況（連結）

当期の業績概況

インクジェット事業が順調に推移し5期ぶりの増収。利益面は売上原価低減により増加

当社グループは、印刷機器事業において、新規顧客を獲得し健全な成長を達成することを中期的な経営方針に掲げて運営してまいりました。

国内では、インクジェット事業において本年1月に発売した新シリーズが順調に立ち上がり、全体の売上を牽引しました。孔版事業では、売上は減少していますが2色機など高付加価値機種種の設置を促進し収益の維持に努めました。海外においてもインクジェット事業が順調に伸長したことにより、当期は5期ぶりの増収となりました。利益面では、インクジェット事業の売上原価が低減し営業利益が増加しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は754億5千5百万円（前期比0.8%増）、営業利益は49億1千万円（同21.2%増）、経常利益は55億1千2百万円（同27.9%増）となりました。当期純利益は繰延税金資産の回収可能性の判断基準見直しに伴い48億2千7百万円（同67.2%増）となりました。

次期の見通し

海外事業の拡大と新規市場の開拓により増収・増益を目指す

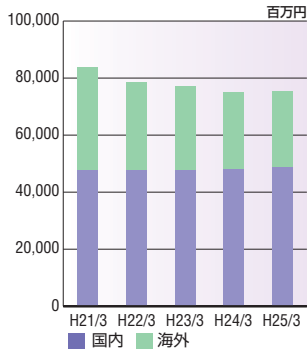
当社グループは、引き続き販路拡充と新規顧客の獲得を推進すべく、平成28年（2016年）3月期を最終年度とした第五次中期経営計画「RISO Vision 16」を平成26年3月期から進めてまいります。特に海外事業拡大を最重要課題と捉え、インクジェットプリンターの新製品を順次海外に展開し、全世界において新規顧客の獲得に注力してまいります。また、新たな用途提案により新規市場を開拓して増収・増益を目指してまいります。次期の売上高は793億円（前期比5.1%増）、営業利益は54億円（同10.0%増）、経常利益は55億円（同0.2%減）、当期純利益は36億円（同25.4%減）を見込んでいます。

なお、業績見通しにおける為替レートは、1米ドル90円、1ユーロ116円を前提としております。

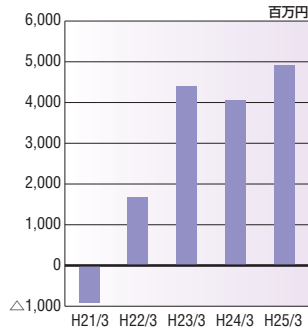
(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

● 連結業績ハイライト

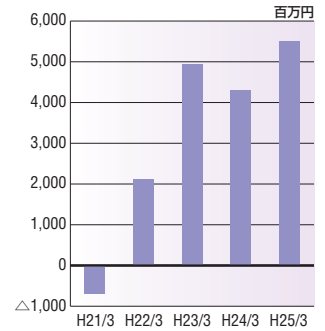
売上高



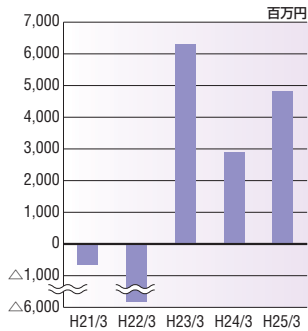
営業利益・損失



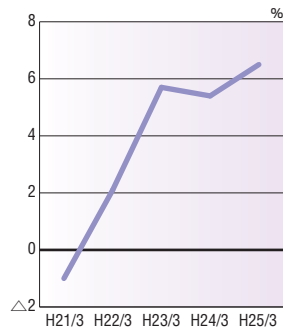
経常利益・損失



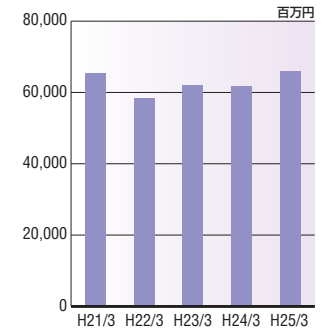
当期純利益・損失



売上高営業利益率



純資産



		平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高	(百万円)	83,774	78,469	76,897	74,847	75,455
国内	(百万円)	47,797	47,562	47,758	48,196	48,637
海外	(百万円)	35,976	30,907	29,138	26,651	26,817
営業利益・損失	(百万円)	△ 913	1,669	4,406	4,050	4,910
経常利益・損失	(百万円)	△ 695	2,113	4,939	4,309	5,512
当期純利益・損失	(百万円)	△ 641	△ 5,937	6,288	2,886	4,827
売上高営業利益率	(%)	△ 1.1	2.1	5.7	5.4	6.5
純資産	(百万円)	65,484	58,275	62,095	61,825	66,033



財務諸表の概要(連結)

● 貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成24年3月31日	平成25年3月31日
流動資産	50,707	53,429
現金及び預金	13,377	13,901
受取手形及び売掛金	14,240	14,936
有価証券	8,731	8,987
● たな卸資産	11,393	12,211
その他	3,241	3,683
貸倒引当金	△ 275	△ 291
固定資産	38,989	42,022
有形固定資産	27,540	30,323
建物及び構築物	6,129	5,624
機械装置及び運搬具	921	1,024
土地	16,943	17,129
● その他	3,546	6,544
無形固定資産	6,709	5,636
のれん	2,009	1,344
ソフトウェア	2,303	2,404
その他	2,397	1,887
投資その他の資産	4,740	6,062
投資有価証券	1,463	1,824
その他	3,381	4,296
貸倒引当金	△ 104	△ 58
資産合計	89,697	95,452

(注) 当期の有形固定資産の減価償却累計額40,473百万円

POINT① たな卸資産

オフィスの新シリーズ発売に伴い期末のたな卸資産が増加しました。

(負債の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成24年3月31日	平成25年3月31日
流動負債	22,676	24,969
支払手形及び買掛金	11,197	11,149
短期借入金	2,227	2,839
一年内返済予定の長期借入金	2	2
その他	9,249	10,979
固定負債	5,195	4,448
長期借入金	38	35
退職給付引当金	3,691	3,807
その他	1,465	605
負債合計	27,872	29,418

(純資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成24年3月31日	平成25年3月31日
株主資本	64,757	67,118
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	37,874	39,159
● 自己株式	△ 2,011	△ 935
その他の包括利益累計額	△ 2,932	△ 1,085
その他有価証券評価差額金	△ 107	249
為替換算調整勘定	△ 2,825	△ 1,334
純資産合計	61,825	66,033
負債純資産合計	89,697	95,452

POINT② 有形固定資産 その他

5月末竣工の理想開発センターの建設仮勘定を計上しました。

POINT③ 自己株式

当期は104万7千5百株(14億9千9百万円)の自己株式を取得しました。また、2月7日に200万株の自己株式を消却しました。

(注)記載金額は、表示金額未滿を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

● 損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
売上高	74,847	75,455 ●
印刷機器事業	73,149	73,864
日本	46,572	47,113
米州	5,177	4,834
欧州	12,390	12,274
アジア	9,008	9,642
不動産その他事業	1,698	1,590
売上原価	34,259	33,286 ●
売上総利益	40,588	42,168 ●
販売費及び一般管理費	36,538	37,258
営業利益	4,050	4,910
営業外収益	545	753
営業外費用	286	151
経常利益	4,309	5,512
特別利益	417	61
特別損失	447	555
税金等調整前当期純利益	4,280	5,018
法人税等	1,393	191 ●
当期純利益	2,886	4,827

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,945	7,287
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,212	△ 5,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,773	△ 2,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 113	769
現金及び現金同等物の増減額	3,846	636
現金及び現金同等物の期首残高	17,130	20,976
現金及び現金同等物の期末残高	20,976	21,612

POINT④ 売上高

前期に比べ売上が6億円増加しました。このうち為替影響は4億円でした。

POINT⑤ 売上原価・売上総利益

インクジェット事業の売上原価が減少したことにより、売上総利益が増加しました。

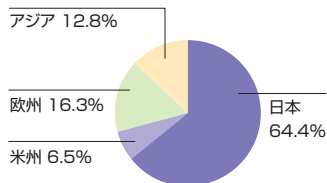
POINT⑥ 法人税等

法人税、住民税及び事業税は23億9千8百万円ありましたが、繰延税金資産の見直しにより法人税等調整額が△22億6百万円ありました。

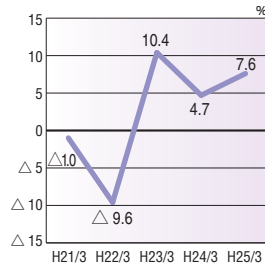
POINT⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

5月末竣工の理想開発センターの建設仮勘定を計上しました。

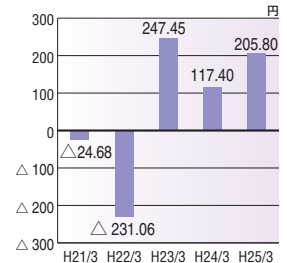
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率



一株当たり当期純利益・損失





安定性・拡張性を備えた高速カラープリンター 「ORPHIS EXシリーズ」を発売

当社は、高速カラープリンターオフィスの新シリーズとして、拡張性を強化した「ORPHIS EXシリーズ」4機種を本年1月に発売しました。

①両面印刷に適した新インクを開発

速乾性の高い新インクの開発により、両面プリント時の仕上がりを向上させました。用紙の裏側へインクが抜けにくいだけでなく、耐光性や耐水性にも優れているため、色あせや水滴によるにじみに強く、長期保管が必要な書類の印刷にも適しています。

②用紙搬送機構の改良で薄紙への対応も可能に

用紙搬送機構を改良し、薄紙や封筒など厚い紙を通紙する際の安定性を高めました。薄くて軽い軽量紙にも対応できるようになったことで、プリント物の保管スペースの縮小やDM配送経費の削減も可能となりました。

③多様なニーズに応える豊富なオプションを用意

多様化する企業内の内製化ニーズに応え、ダイレクトメール等の宛名、封入物のプリントから封入封かんまでの工程を自動で行う『ORマーキングフィニッシャー』、小冊子の作成をプリントから製本まで自動で行う『ORくるみ製本フィニッシャー』、4,000枚の連続給排紙に対応する『OR大容量給紙ユニット』『OR大容量排紙ユニット』などの豊富なオプションをそろえました。

④世界最速のプリントスピードと優れた経済性

従来のXシリーズと同様、片面フルカラーのプリントスピードは、オフィス用カラープリンターとして世界最速の最高150枚/分^{*1}の性能を備えています。また、プリントコストはフルカラー 1枚あたり1.56円^{*2}、モノクロでは0.53円^{*2}という低コストを実現しています。

*1 EX9050、EX9000の2機種（A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、EXフェイスダウン排紙トレイ使用時）。2012年11月現在販売の枚葉（カット紙）オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。

*2 A4普通紙片面、RISO EXインク F使用時。カラーは測定画像にISO/IEC24712の定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは測定画像にISO/IEC19752の定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙別別。



「ORPHIS EX9050」

くすみ製本を自動で仕上げる 『ORくすみ製本フィニッシャー』を発売

当社は、「ORPHIS EXシリーズ」のオプションとして、A4・B5・A5サイズのくすみ製本が全自動でできる『ORくすみ製本フィニッシャー』を本年1月に発売しました。

同機は、プリントから完成まで毎時約60冊*1の高速製本(厚さ30mm・両面約600ページ*2まで)を実現します。背表紙にタイトルをプリントできるほか、表紙インサーターを用いれば印刷済みの表紙も使うことができます。プリントから製本までを全自動で仕上げられるため、従来は外注していた製本作業がオフィスで手軽にできるようになります。

*1 EX9050/EX9000で、A4両面100ページの製本時。
EX7250/EX7250A/EX7200の場合は約48冊/時。

*2 理想用紙IJ (85g/ml) 使用時。

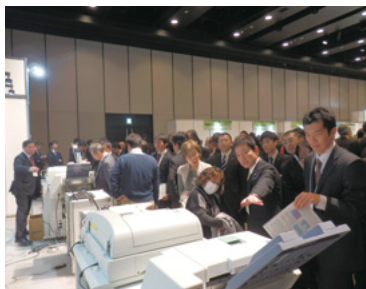


『ORくすみ製本
フィニッシャー』
を装備した
『ORPHIS EX
9050』

新製品発表展示会 『RISO Extra Value Fair』を開催

当社は、本年1月～3月に全国で新製品発表展示会『RISO Extra Value Fair』を開催しました。東京・渋谷ヒカリエでの展示会では、2日間で約3,100社のお客様にご来場いただきました。

会場には特設ステージを設け、映像とナレーションを交えて高速カラープリンター「ORPHIS EXシリーズ」の機能や特長、用途などを紹介するとともに、EXシリーズのオプションとして新登場した、くすみ製本フィニッシャーやメーリングフィニッシャー、大容量の給紙・排紙ユニットなどの様々なオプションもご提案しました。



東京・渋谷ヒカリエで
開催した『RISO Extra
Value Fair』の様子

葬祭業・ギフト業向けソフトの新バージョンを発売

当社は、オフィス及びリソグラフ向け業務用ソフト「理想筆耕職人シリーズ」の新バージョンとして、『理想筆耕職人 会葬礼状Ver.3 / のしVer.3』を昨年10月に発売しました。どちらも簡単に本格的な印刷物の原稿が作成できるソフトです。

新バージョンでは、新たにカラープリントモードを追加。オフィスでのカラー出力が可能となり、葬祭業・ギフト業の多様なニーズに幅広くお応えします。



『理想筆耕職人 会葬礼状Ver.3/のしVer.3』

● プリントゴッコ事業終了

当社は平成24年12月28日をもって、プリントゴッコ事業を終了いたしました。皆様の長年にわたるご愛顧に心より感謝申し上げます。

お客様事例ご紹介

オルフィスやリソグラフをお使いいただいているユーザーの方々をご紹介するコーナー「お客様事例ご紹介」を設けました。今回は、株式会社インソース様と伊勢市立大湊小学校様をご紹介します。

ORPHIS



株式会社インソース(東京都千代田区)

RISOGRAPH



伊勢市立大湊小学校(三重県伊勢市)

高い作業効率と製本技術で教材作成に大活躍

株式会社インソース様は、各種ビジネススキルや階層別研修、テーマ別研修など、質の高い人材育成・教員研修サービスを提供する会社。お客様の課題に即したテキスト教材を作成し、社内で1カ月におよそ80,000枚の印刷を行っています。多種多様な研修に対応するテキストを自社で作成するにあたり、カラープリントから製本まで全自動で処理できる「ORPHIS EXシリーズ」が大活躍しています。

導入前は朝から午後までかかっていた印刷業務も、今は午前中に終了。40ページのテキストなら1時間で100冊も仕上がり、空いた時間は本来の業務に専念できます。

インソース様にとってテキストは商品そのもの。見栄えは非常に重要です。わかりやすくカラー化されたグラフや図版は、お客様の理解度の向上にも役立っています。

急な変更も社内印刷なら十分に対応可能。今後はあらゆる印刷物を内製化したいそうです。カラープリントのさらなる可能性が広がります。

2色印刷に隠されたうれしい効果

以前はパソコンで作ったデータをプリントアウトし、教材を作成していたという大湊小学校6年生担任の先生。生徒35名分、長期休暇のたびに全100ページほどある宿題の原稿作成から完成までに何週間も費やしていました。それが「RISOGRAPH MDシリーズ」の導入後は、印刷作業が2時間ほどで済んでしまうため、放課後など子どもたちと過ごせる時間が増えました。

また、解答用紙や原稿用紙などを緑色で印刷すると、子どもが鉛筆で書いた文字が読みやすくなったり、問題文のキーとなる数字だけを彩色することで大事なポイントが伝えやすくなったりと、2色印刷は予想以上の効果を発揮しています。

さらには、タッチパネルで色分けが簡単にできるため、子どもたちも行事のお知らせなどの印刷を進んで手伝い、どこをどうカラーで強調すれば伝わりやすいかなど、体験的にデザインを学んでいるようです。

今後も効果的な使い方を考えていきたいという先生。アイデアを生かした2色印刷の活用が期待できます。

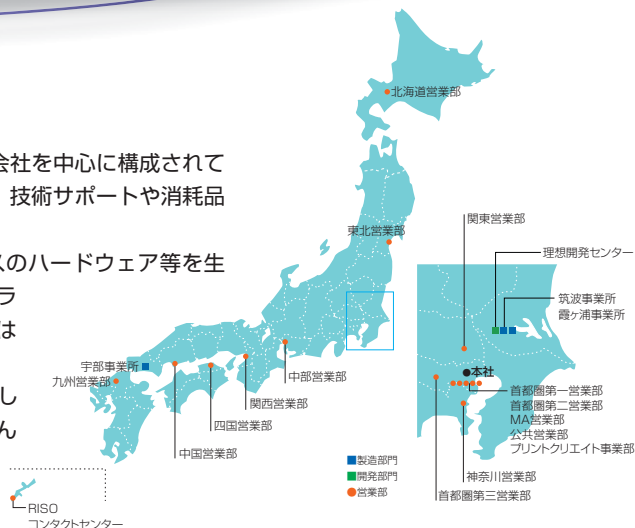
RISOネットワーク (平成25年6月25日現在)

国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はオフィスのハードウェア等を生産しています。霞ヶ浦工場はオフィスのインクとリソグラフのインク・マスターの一部を生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターの生産を受け持っています。

当社は茨城県つくば市に「理想開発センター」を新設しました。業務効率の向上を図り、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

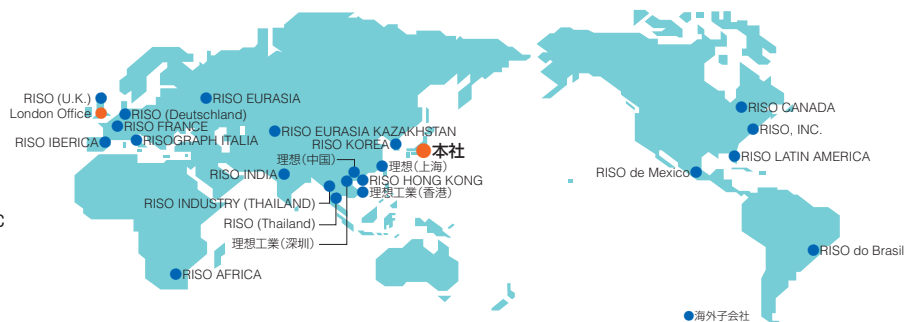


海外

当社は23の海外子会社を中心に、オフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。

●海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO do Brasil Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想工業(深圳)有限公司
- 理想(中国)科学工業有限公司
- 理想(上海)印刷器材有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.

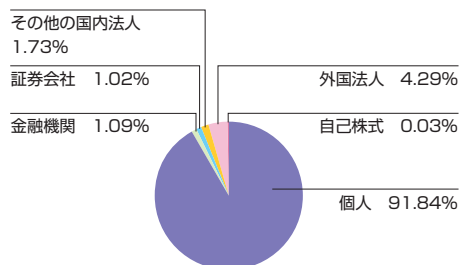




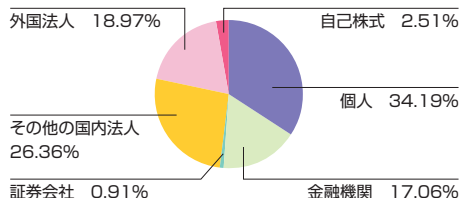
株式の状況 (平成25年3月31日現在)

● 発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
● 発行済株式の総数	23,703,166株 (前期末比2,000,000株 減少)
● 株主数	3,122名 (前期末比293名 減少)

● 株主数比率



● 株式数比率



● 大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	10.42
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー)	1,482	6.26
サブ アカウント アメリカン クライアント		
公益財団法人理想教育財団	1,330	5.61
理想科学工業従業員持株会	1,010	4.26
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託		
東京都民銀行口再信託受託者資産管理	783	3.31
サービス信託銀行株式会社		
ノーザン トラスト カンパニー		
エイブイエフシー リューエス タックス	656	2.77
エグゼンテド ペンション ファンズ		
羽山 明	616	2.60
羽山 治	597	2.52
理想科学工業株式会社	594	2.51
羽山 尚	594	2.51

(注) シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピーから平成25年1月16日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成25年1月10日現在で以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿と相違しており、当社として当期末日現在における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況には含めておりません。なお、変更報告書の内容は次のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピー	2,549

● 自己株式の取得・消却について

当期中に取得・消却した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	1,047,500株
取得価格	1,499百万円
消却した株式数	2,000,000株 (消却前発行済み株式の総数に対する割合7.78%)
消却実施日	平成25年2月7日



会社概要

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385
東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年（1946年）9月2日
- 会社設立 昭和30年（1955年）1月25日
- 資本金 14,114,985,384円
(平成25年3月31日現在)
- 従業員数 1,760名（グループ全体 3,586名）
(平成25年3月31日現在)
- 連結子会社 25社（国内2社 海外23社）
(平成25年3月31日現在)
- 役員

代表取締役社長	羽山 明
常務取締役	高橋 靖宏
常務取締役	国谷多可史
常務取締役	阿部 和男
常務取締役	遠藤喜一郎
取締役	藤岡 秀則
取締役	高橋 康信
取締役	池嶋 昭一
取締役	上田 雅弘
取締役	橋本総一郎
取締役	成宮 慶臣
取締役	氏家 直樹
取締役	加野 敏明
取締役	林 享史
取締役	奥 総一郎*
常勤監査役	山本研十郎
常勤監査役	田澤 康男
監査役	飯塚 良成*
監査役	八田 進二*

(平成25年6月25日現在)

(注)*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

理想科学に関する様々な情報は ホームページでご覧になれます。

当社ホームページは、製品・サービスや採用のほか、会社情報や環境への取り組みなど多くの情報を発信しています。「株主・投資家情報」では、財務やIRに関連するニュースやデータをはじめ、決算短信や有価証券報告書、内部統制、コーポレートガバナンス、株式手続きなど様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

- ホームページ
<http://www.riso.co.jp/>



- 株主・投資家情報
<http://www.riso.co.jp/ir/>

● 将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社 の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

● 株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、
FSC®認証紙を使用しております。

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル